



Q 最新の世界経済の見通しは？

A IMFは、2017年の世界経済が順調に回復するとの見通しを維持しました。ユーロ圏、日本、中国、ASEAN5、ブラジル、メキシコなどが上方修正されました。

- 国際通貨基金（IMF）によれば、17年の世界経済の実質GDP成長率見通しは+3.5%と4月時点と比べて変化はありませんでした。
- 先進国・地域では米国が4月比▲0.2%の+2.1%、英国が同▲0.3%の+1.7%へ下方修正されました。米国は今後の財政政策の効果が引き下げられたこと、英国は1-3月期の成長率が低調だったことが背景です。一方、日本とユーロ圏は上方修正となりました。日本は1-3月期の個人消費、投資、輸出が堅調だったことが背景です。ユーロ圏は、遡及修正により16年の実績が引き上げられ、17年、18年の予想も引き上げられました。フランス、ドイツなどの国内需要のモメンタムの強さが反映されました。
- 新興国・地域の成長率は、引き続き加速する見通しで17年は0.1%の上方修正となりました。中でも中国は17年、18年と上方修正です。中国は拡張的な財政政策や過剰生産能力の解消に向けた構造改革等が寄与し、年前半の成長率が上振れたことが背景です。ASEAN5、ブラジル、メキシコ、南アメリカも上方修正されました。インドは18年にかけて成長が加速する見通しが維持されました。

IMFの世界経済見通し（2017年7月）

（単位：％）

	2016年		2017年（予想）		2018年（予想）	
	成長率	修正幅	成長率	修正幅	成長率	修正幅
世界全体	3.2	0.1	3.5	0.0	3.6	0.0
先進国・地域	1.7	0.0	2.0	0.0	1.9	▲0.1
日本	1.0	0.0	1.3	0.1	0.6	0.0
米国	1.6	0.0	2.1	▲0.2	2.1	▲0.4
ユーロ圏	1.8	0.1	1.9	0.2	1.7	0.1
英国	1.8	0.0	1.7	▲0.3	1.5	0.0
豪州	2.5	-	3.1	-	3.0	-
新興国・地域	4.3	0.2	4.6	0.1	4.8	0.0
中国	6.7	0.0	6.7	0.1	6.4	0.2
ASEAN5	4.9	0.0	5.1	0.1	5.2	0.0
インド	7.1	0.3	7.2	0.0	7.7	0.0
ブラジル	▲3.6	0.0	0.3	0.1	1.3	▲0.4
メキシコ	2.3	0.0	1.9	0.2	2.0	0.0
ロシア	▲0.2	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0
南アフリカ	0.3	0.0	1.0	0.2	1.2	▲0.4

（注1） ASEAN5はタイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナムの5カ国。インドは年度。

（注2） 各年の修正幅は2017年4月時点の見通しとの比較。豪州は2017年4月の見通し。

（出所） IMFのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。